



スミダコーポレーション株式会社

2020年12月期第1四半期決算説明資料

2020年4月28日





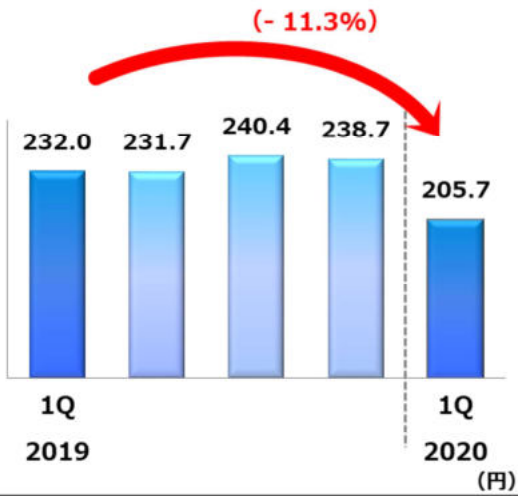
2020年第1四半期業績概要 および経営施策

堀 寛二
社長

売上高の推移



(億円)



- 2019年度から継続している中国車載マーケットの低迷に加え、新型コロナウイルスの世界的影響を受け売上高は前年対比で11.3%減少。

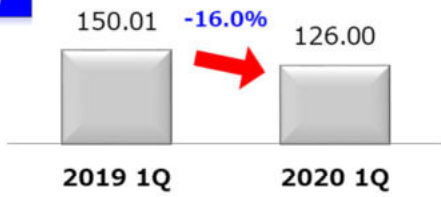
USD	110.23	110.45	107.32	108.57	109.43
Euro	125.71	123.74	120.20	119.76	120.76

市場別売上高 前年同期比較



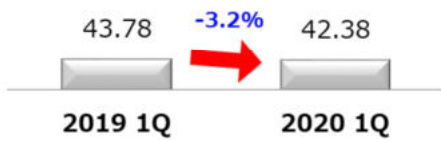
(億円)

車載



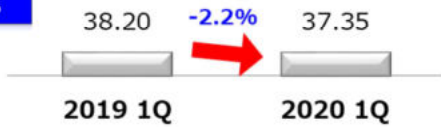
➡ 2019年度から継続している中国車載マーケットの低迷に加え、新型コロナウイルスの影響を受けマイナス成長になっている。

インダストリー



➡ 欧州の太陽光発電向けビジネスの増加が、アジア地域の新型コロナウイルスのマイナス影響を打ち消す形。

家電



➡ スマートフォン関連において既存主力製品の売上高は堅調に推移。

地域別売上高 前年同期比較

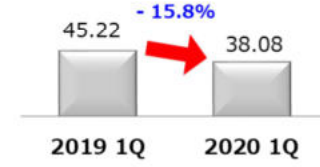


(億円)

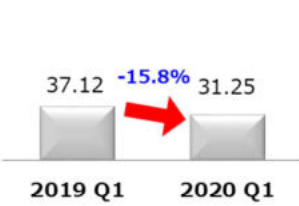
アジア (中国/台湾除く)



中国/台湾



北米/その他



欧州



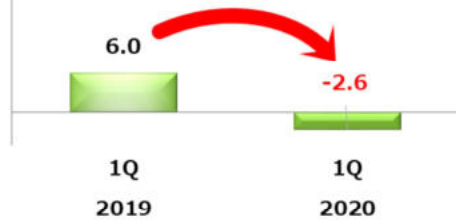
- アジア (日本、韓国、シンガポール) 並びに中国は当社中国工場一時閉鎖、サプライチェーンの混乱、中国国内顧客の工場稼働停止、中国国内需要低迷により前年対比ではマイナス成長となった。
- 北米は、車載OEMの米国工場稼働停止の影響で前年対比でマイナス成長となった。
- 欧州は、車載OEM工場稼働停止の影響で前年対比でマイナス成長となった。

営業利益の推移



(億円)

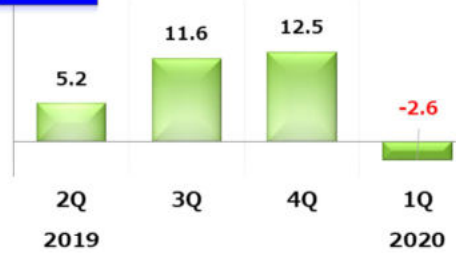
前年対比



■ 売上高減少、中国工場の操業度及び効率低下により営業利益減少。

■ 今期予定していた構造改革を実施、費用の一部の2億円を計上。

前Q対比



■ 2月中旬に中国工場稼働後、操業度改善、固定費削減により3月単月では収益大幅改善

Copyright © 2020 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

6

新型コロナウイルスの感染拡大の影響 ①



■ 各拠点の稼働状況

- ✓ 日本：青森、長野工場は通常通り、その他首都圏を中心とした拠点では積極的な在宅勤務及び時差出勤実施した上で稼働中。
- ✓ 中国：政府の指示を受け春節後2月中旬まで全7工場は休暇を延長したものの、その後順次稼働を再開し、3月末時点の工員数は昨年末と同レベルまで回復した。また、1Q後半にローカルサプライヤーで一部納期が遅延したが全体的に大きな影響はなかった。営業、開発拠点は通常通り稼働中。
- ✓ 中国工場の工員指数推移

	2019年 12月末	2020年 1月末	2月末	3月末
工員指数	100%	84%	76%	101%

新型コロナウイルスの感染拡大の影響 ②



■ 各拠点の稼働状況

- ✓ ベトナム、タイ工場：通常通り稼働中。
- ✓ その他アジア拠点：各国政府の指示に従い、在宅、時差勤務等を実施した上で稼働中。
- ✓ 欧州：全工場通常通り稼働中。営業、開発拠点では積極的な在宅勤務及び時差出勤を実施した上で稼働中。
- ✓ 北米：全工場は通常通り稼働中。営業拠点は政府の指示を受け在宅勤務を実施中。
- ✓ メキシコ工場：1Qは通常通り稼働した。（政府の指示により4月初旬より生産停止し、現在最低人数が出勤し出荷等を実施中。）
- ✓ 尚、上記全拠点、工場では出勤前、出勤中の検温、マスク着用義務化の上、最大限の感染防止対策に努めている。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響 ③



■ 顧客・市場の動向、当社事業への影響

✓ 車載マーケット

- ✓ 中国：2Qは新型コロナウイルスの影響が軽減し1Q比較状況は改善する予想。
- ✓ 日本、欧州、北米：2Qは一部車載OEMの工場稼働停止の影響を受けて低調となる予想。

✓ 家電：1Qは顧客の中国工場稼働停止の影響は受けたが、新製品立ち上げ、ホームワーク需要の効果もあり堅調に推移。2Qも同様に推移する予想。

✓ インダストリー：欧州で、医療、太陽光発電等関連需要は高まる予想。

2Qの重要実施事項



- 前述の通り1Qに構造改革費用2億円計上。継続して、2020年下期以降のリカバリーに備え固定費削減実施
- 時短並びに各国ウイルス関連の助成金制度の活用
- 車載特にEV関連、家電のプロジェクトパイプラインは充実しており、このホームワーク状況下でもWeb会議を最大限利用しプロジェクトを推進。
- 優良プロジェクトへの投資は引き続き実施。
- メキシコ以外の各国工場は全て稼働しており、需要に応じた稼働調整をしつつ、マーケット回復時の体制を堅持。

2Qの見通し



■ 1Qとの比較

- ✓ 中国車載マーケットは需要回復を見込む。
- ✓ 日本、欧州、北米車載マーケットの見通しは低調であるが、車載OEM工場稼働開始時期によっては改善する可能性あり。
- ✓ インダストリー、家電関連は1Qと同レベルで推移する予想。

■ 2Q以降の損益に大きく影響するアイテム

- ✓ 中国の景気刺激策の2Qでの効果の現れ方
- ✓ 日本、欧州、北米での車載OEM工場の再開時期
- ✓ スマートフォンの生産及び新製品立ち上げ状況



2020年第1四半期決算概況

本多 慶行
CFO

当社グループ財務の状況



【当社グループ財務の状況】

各国政府等の指導に基づき、経理・財務部門においても、多くの拠点で在宅勤務を原則としながら業務への影響を最小限に抑えるよう取り組んでいます。

財務の状況については、現時点において顕在化している問題はありませんが、各国のキャッシュの流れを注視、次のような取組みを進めました。

- 有利子負債の削減に努め、前期末からネット有利子負債を12億円削減しました。
- 従来から資金の“見える化”を進め、グループ会社の資金の動き、残高等グローバルベースで資金まわりの管理が行えるグローバルキャッシュマネジメントを実行しています。
- 現在80億円のコミットメントラインを未使用のまま維持し、6月には100億円に増額となる見込みです。また状況を見ながら、必要であれば9月にはさらに30億円増額し、コミットメントラインを総額130億円とする準備があります。

【当社連結業績への影響】

2月6日に発表した2020年12月期連結業績予想については、新型コロナウイルス感染拡大による影響は含めておりません。連結業績に対する新型コロナウイルス感染拡大の影響は現在精査中ですが、事態の進展からみて大きな影響が出る可能性があります。

前年同期、直前四半期比較



(単位:百万円)

	19.1Q (A)	19.4Q (B)	20.1Q (C)	前年同期比 (C)/(A)	直前四半期比 (C)/(B)
売上収益	23,198	23,871	20,573	△11.3	△13.8%
売上総利益	3,089	3,419	2,306		
売上総利益率	13.3%	14.3%	11.2%		
営業利益	600	1,254	△260	—	—
営業利益率	2.6%	5.3%	-1.3%		
金融収益/費用 (Net)	△334	△381	△314		
税引前四半期利益	265	873	△574	—	—
法人所得税費用	△147	7	114		
親会社所有者に帰属する 四半期利益	114	815	△481	—	—
基本的1株当たり 四半期利益 (円)	4.22	30.05	△17.75		

Copyright© 2020 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

4

【2020年第1四半期の業績】

売上収益は232億円で前年同期比11.3%のマイナスになりました。

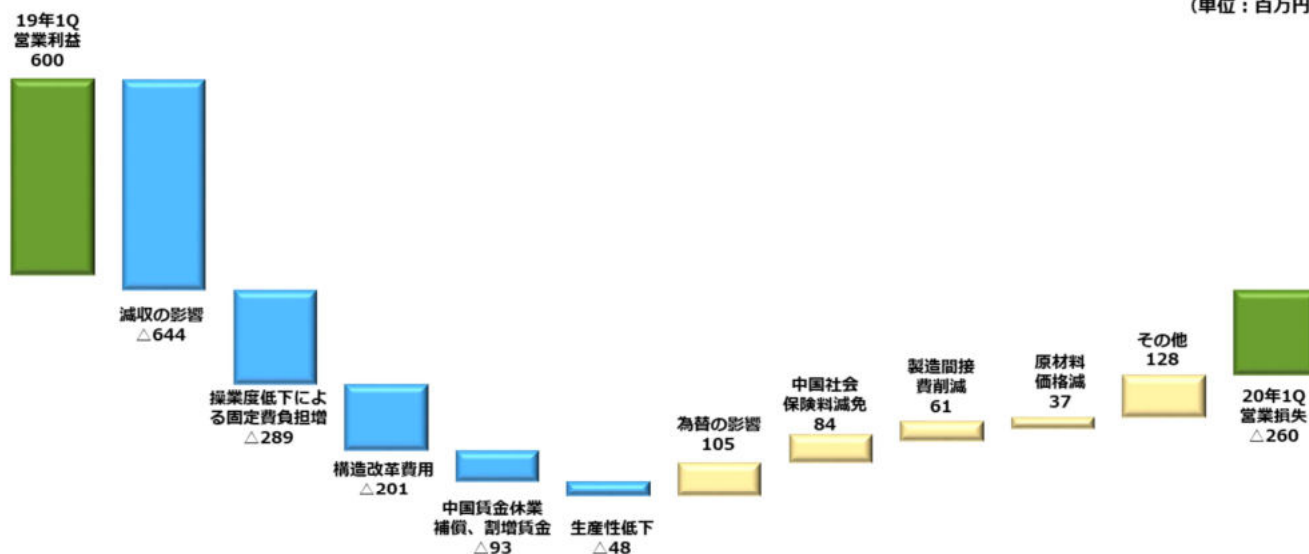
また営業損失は2億6千万円となりました。

中国政府のコロナウイルス感染対策により、1月下旬からの旧正月の中国工場の操業休止が長引き3月に入るまで生産が十分に立ち上がらず、製品供給が困難な中売上が低迷しました。3月に入り中国工場での生産を急速に立ち上げ1、2月のバックログを出荷に繋げました。ところが欧米でのコロナウイルス感染が本格化し3月下旬には工場を休止する顧客が出始め、今度は需要サイドからの影響で売上が伸び悩みました。

営業利益増減要因分析 - 20年1Qと19年1Q -



(単位：百万円)



Copyright© 2020 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

5

以下、主な営業損益の増減要因の説明になります。

約26億円売上が落ちることで営業利益は644百万円減益、

工場の操業度低下による固定費負担増で289百万円減益、

構造改革費用負担により200百万円減益、

2月には中国工場休業補償賃金、3月には急速立ち上げのための割増賃金により93百万円減益、

一方で、

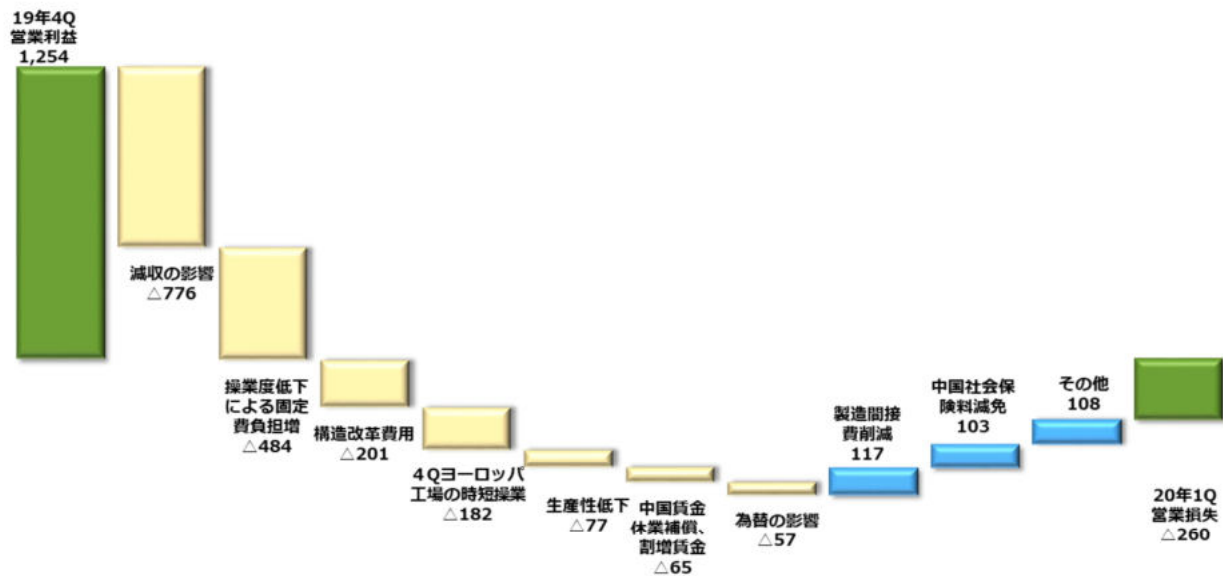
中国政府による社会保険料の減免で84百万円増益、

製造間接費の削減により61百万円増益

営業利益増減要因分析 - 20年1Qと19年4Q -



(単位：百万円)



Copyright© 2020 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

16

以下、主な営業損益の増減要因の説明になります。

約26億円売上が落ちることで営業利益は776百万円減益、

工場の操業度低下による固定費負担増で484百万円減益、

構造改革費用負担により200百万円減益、

4Qには、ヨーロッパ工場での時短操業を実施して1Qでは182百万円減益

生産性低下により77百万円減益

中国工場での休業補償賃金、割増賃金負担により65百万円減益、

一方で、

中国政府による社会保険料の減免で103百万円増益、

製造間接費の削減により117百万円増益

連結財政状態



(単位：百万円)

	19年12月末	20年3月末	増 減		19年12月末	20年3月末	増 減
流動資産	43,032	41,165	△1,866	流動負債	30,630	30,899	268
現金及び現金同等物	3,286	4,402	1,115	営業債務及びその他の債務	10,184	8,271	△1,912
営業債権及びその他の債権	18,826	16,531	△2,295	短期有利子負債	9,303	10,110	807
棚卸資産	16,877	16,176	△700	1年内返済予定又は償還予定の長期有利子負債	6,367	7,061	693
その他の流動資産	4,041	4,055	14	1年内返済予定のリース債務	807	787	△19
非流動資産	53,528	53,578	49	その他の流動負債	3,967	4,667	699
有形固定資産	35,668	35,141	△526	非流動負債	31,337	30,346	△991
使用権資産	3,938	4,635	697	長期有利子負債	23,707	22,128	△1,579
のれん	4,176	4,137	△39	リース債務	3,462	4,192	729
無形資産	6,151	6,066	△85	その他の非流動負債	4,166	4,025	△141
繰延税金資産	2,140	2,089	△50	負債合計	61,967	61,245	△722
その他の非流動資産	1,453	1,507	53	資本合計	34,593	33,498	△1,094
資産合計	96,561	94,744	1,817	親会社所有者に帰属する持分合計	33,013	31,913	△1,099
	19年12月	20年3月		非支配持分	1,579	1,585	5
流動比率	1.40	1.33		負債資本合計	96,561	94,744	△1,817
Net DEレシオ	1.09	1.09		為替 米ドル/円	108.66	108.42	
C C C (日)	107	104		ユーロ/円	121.83	119.20	
				人民元/円	15.54	15.26	

* Net DEレシオ：（短期銀行借入+1年内長期銀行借入+長期銀行借入）÷現金及び現金同等物）/親会社所有者に帰属する持分合計

Copyright© 2020 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

17

昨年度末から運転資金（売掛金＋棚卸資産－買掛金）が減少し、ネット銀行有利子負債が約12億円減少しました。

連結キャッシュ・フロー



(単位:百万円)

	19.1Q	20.1Q	差異
営業キャッシュ・フロー	2,217	2,401	184
税引前四半期利益	265	△574	△840
減価償却費及び償却費	1,283	1,449	165
運転資本の増減	254	948	693
その他	413	578	165
投資キャッシュ・フロー	△1,804	△1,384	420
設備投資	△1,657	△1,307	350
その他	△146	△77	69
財務キャッシュ・フロー	1,050	158	△891
有利子負債の増減	1,528	598	△929
配当金支払	△243	△162	80
その他資本性金融商品の所有者に対する 分配の支払額	△51	△51	0
その他	△183	△226	△42
現金及び現金同等物四半期末残高	5,551	4,402	△1,148

Copyright© 2020 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

18

顧客からの要請により一部設備投資が先延ばしになっています。
その結果フリーキャッシュフローがプラスになりました。

四半期業績推移



(単位:百万円)

		19.1Q	19.2Q	19.3Q	19.4Q	20.1Q
売上収益		23,198	23,172	24,040	23,871	20,573
営業利益		600	524	1,163	1,254	△260
為替	米ドル/円	110.23	110.45	107.32	108.57	109.43
	ユーロ/円	125.71	123.74	120.20	119.76	120.76
	人民元/円	16.25	16.27	15.39	15.34	15.66

報告セグメント四半期会計期間売上収益



(単位：百万円)

	19.1Q (A)	19年4Q (B)	20年1Q (C)	前年同期比 (C)/(A)	直前四半期比 (C)/(B)
アジア・パシフィック事業	13,925	15,682	12,244	△12.1%	△21.9%
EU事業	9,273	8,189	8,328	△10.2%	1.7%
合計	23,198	23,871	20,573	△11.3%	△13.8%

減価償却費、設備投資額、研究開発費



(単位：百万円)

		19年1Q (実績)	20年1Q (実績)
減価償却費		1,283	1,449
設備投資額		1,657	1,307
研究開発費		1,031	923
期中平均 為替レート	米ドル/円	110.23	109.43
	ユーロ/円	125.71	120.76
	人民元/円	16.25	15.66

配当について



(単位：円)

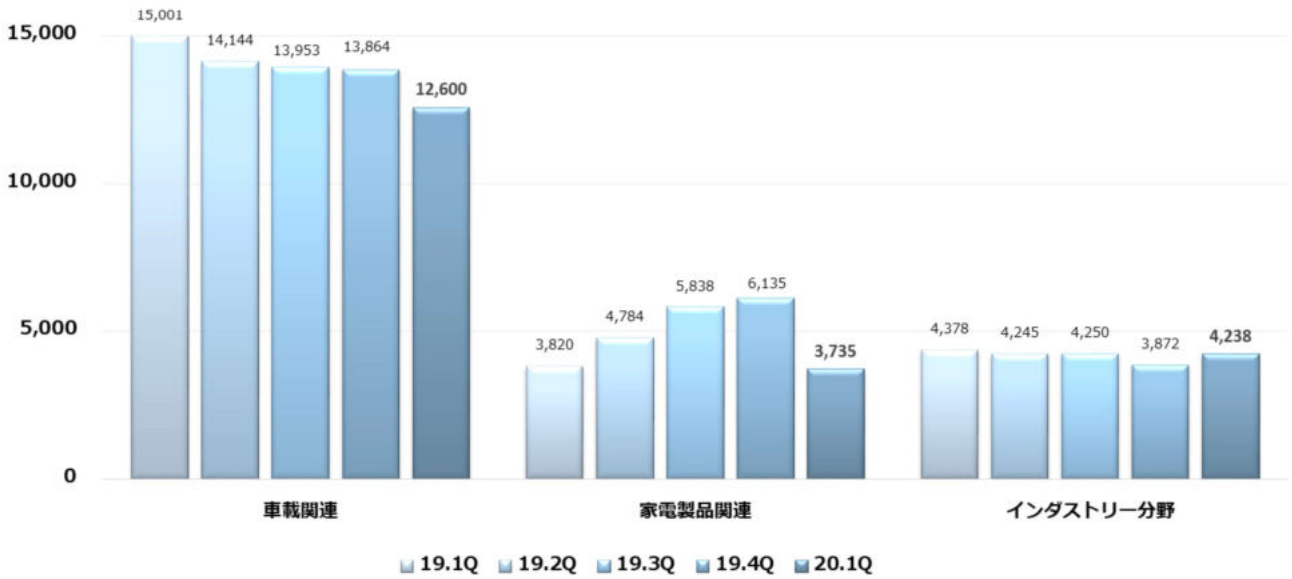
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間配当
2020年12月期 期初配当予想	6.00	6.00	6.00	6.00	24.00
配当実績	0.00				
修正配当予想		-	-	-	-
2019年12月期 配当実績	6.00	6.00	6.00	6.00	24.00

(注) 第2四半期以降の配当は未定

市場セグメント別四半期売上収益



(単位：百万円)

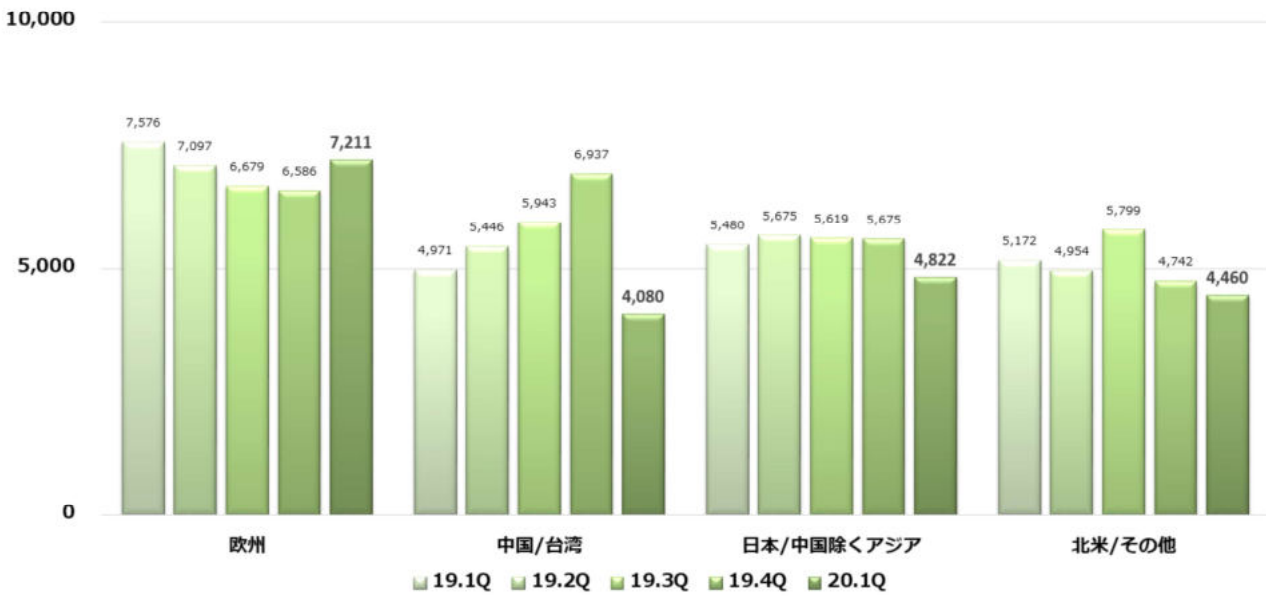


Copyright© 2020 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

仕向地別四半期売上収益



(単位：百万円)



Copyright© 2020 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

為替の影響度



(単位：百万円)

為替変動による影響

通貨	2020年 前提為替 レート	対円変動幅	売上収益 への影響	営業利益 への影響
USドル	108.00円	1円円高	△72	△20
ユーロ	119.00円	1円円高	△69	△5
人民元	15.00円	1円円高	△59	116

四半期売上収益/営業利益推移



(単位: 百万円)

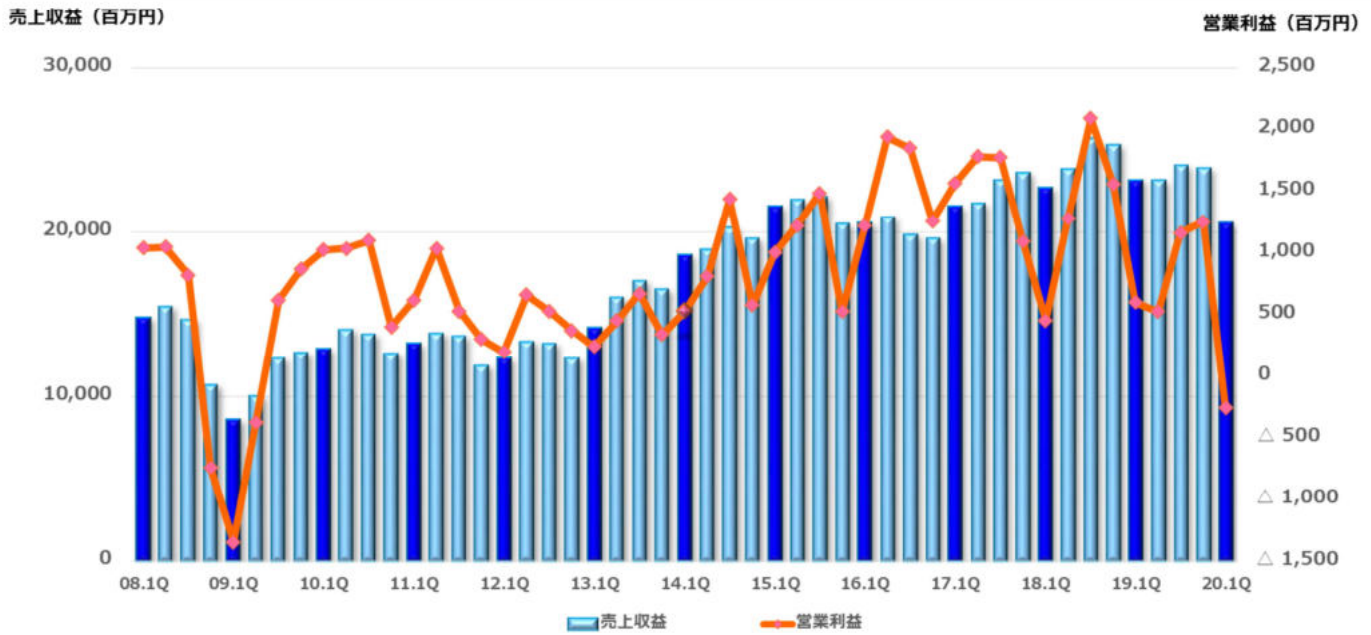
	10.2Q	10.3Q	10.4Q	11.1Q	11.2Q	11.3Q	11.4Q	12.1Q
売上収益	14,107	13,828	12,615	13,259	13,880	13,705	11,913	12,375
営業利益	1,036	1,102	404	618	661	530	300	197
	12.2Q	12.3Q	12.4Q	13.1Q	13.2Q	13.3Q	13.4Q	14.1Q
売上収益	13,346	13,220	12,357	14,228	16,021	17,067	16,575	18,647
営業利益	552	582	366	240	449	670	338	524
	14.2Q	14.3Q	14.4Q	15.1Q	15.2Q	15.3Q	15.4Q	16.1Q
売上収益	18,986	20,304	19,624	21,585	21,961	22,152	20,537	20,603
営業利益	808	1,436	576	1,003	1,224	1,484	524	1,223
	16.2Q	16.3Q	16.4Q	17.1Q	17.2Q	17.3Q	17.4Q	18.1Q
売上収益	20,921	19,876	19,651	21,599	21,769	23,164	23,621	22,701
営業利益	1,936	1,849	1,260	1,566	1,780	1,774	1,097	456
	18.2Q	18.3Q	18.4Q	19.1Q	19.2Q	19.3Q	19.4Q	20.1Q
売上収益	23,838	25,682	25,314	23,198	23,172	24,040	23,871	20,573
営業利益	1,281	2,085	1,559	600	524	1,163	1,254	△260

※2016年第1四半期からIFRS基準を任意適用した数字を記載しています。

Copyright© 2020 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

26

四半期売上収益/営業利益推移

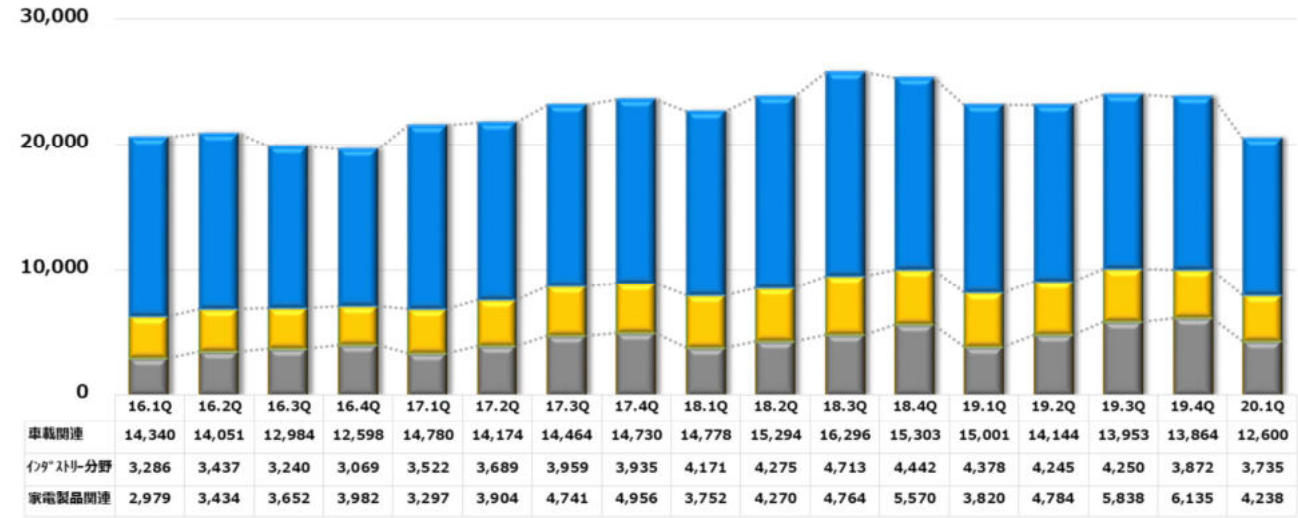


Copyright© 2020 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

市場セグメント別売上収益 四半期推移



(百万円)



■ 家電製品関連 ■ インターストリ分野 ■ 車載関連

(注) 市場セグメントの見直しにより、過去数値については変更される場合があります。

Copyright© 2020 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

将来予測に関する記述

当資料に掲載されている記述には、当社の将来予測に関する記述が含まれています。これらの将来予測に関する記述は、当社が現時点で入手した情報に基づくものです。従って、予期せぬ事象の発生及び経営環境の変化（世界経済情勢、事業構造、競争状態、技術動向、公的規制、社会環境・労働環境等によるものを含みます。）等の要因によって、実際の結果がこれらの将来予測に関する記述と異なる結果となる可能性があることをご了承ください。また、当社は、実際の結果が将来予測に関する記述と異なる結果となった場合でも、将来予測に関する記述を修正して公表する義務を負うものではありません。また、そのことに付随して発生したいかなる損失、損害にも責任を負いません。

本資料の著作権は、当社に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

なお、本資料では百万円単位で管理している原数値を億円単位で表示している場合があり、合計額、差額等が不正確な場合があります。詳細な数字が必要な場合は決算短信を参照していただきますようお願いいたします。